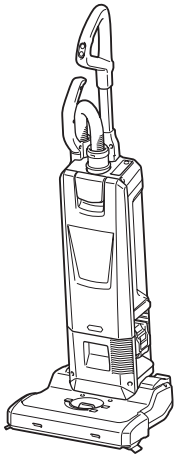
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

充電式アップライトクリーナ

モデル VC010G



このたびは**充電式アップライトクリーナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

はじめに

主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 3
各部名称 …… 14
標準付属品の確認 …… 15
別販売品のご紹介 …… 16

ご使用前の準備

組み立て …… 17
バッテリの充電 …… 19
バッテリ／充電器の取り扱い …… 21
使用前に知っておいていただきたいこと …… 22

使い方

バッテリの取り付け／取りはずし方法 …… 24
本製品の操作 …… 25
・回転ブラシの高さ調整について …… 25
・スイッチの操作 …… 26
・LED ライトについて …… 27
・お知らせ機能 …… 28
・パイプの取りはずし／取り付け方法 …… 29
・クリーナと付属品の使い方 …… 31
・サイクロンアタッチメント（別販売品）について …… 36
使用後の取り扱い …… 38
・紙パックの交換方法 …… 38
・ダストバッグ（別販売品）の取り付け／取りはずし方法 …… 42
・ダストバッグ（別販売品）のゴミの捨て方 …… 43
・サイクロンアタッチメント（別販売品）のゴミの捨て方 …… 44
・保管について …… 46

保守

保守 …… 47
故障かな？と思ったら …… 54

はじめに

主要機能

主要機能＼モデル	VC010G
電動機	DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリ（別販売品）	対応バッテリの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧	直流 36 V（40 V max）※ 1
最大風量※ 2	1.8 m^3/min
最大真空度※ 2	15 kPa
最大吸込仕事率※ 2	パワフル：110 W 標準：50 W 静音：25 W
集じん容量	5 L

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ 1：40 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。
※ 2：ホース先端で測定

製品の質量および寸法

装着バッテリ	質量	本製品寸法 長さ×幅×高さ
BL4025	7.8 kg	326 mm × 381 mm × 1,146 mm
BL4080F	9.0 kg	

1 回の充電での作業量（参考値）

・ 数値は参考値です。

使用バッテリ	モード	連続作業時間
BL4050F	パワフル	約 25 分
	標準	約 50 分
	静音	約 100 分

JPC007-5

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

- 水洗いしないでください。また、風呂場など湿った場所や濡れた場所で使用しないでください。
  - モータに水分が入ると、ショートし、発熱、発火の原因になります。

- 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
  - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

- 子供に本製品や充電器で遊ばせないでください。
  - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
  - ゴミ捨て
  - フィルタ類の清掃（お手入れ）
  - 回転ブラシの交換・清掃（お手入れ）
  - 保管
  - その他危険が予想される作業

- 本製品にバッテリを差し込む際は、スイッチが入らないように注意してください。
  - スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリを装着すると、急に動きだし事故の原因になります。

- 本製品の吸込口や排気口に手、髪などの体の一部または身に着けたものを入れないでください。
  - けがの原因になります。

⚠ 警告

- 回転中のブラシに手、髪などの体の一部または身に着けたものを触れさせないでください。
  - けがをする恐れがあります。

- 屋外で使わないでください。

- 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

- 階段や急な坂道など不安定な場所で使用しないでください。
  - 本製品が転倒・落下し、けがの原因になります。

- 転倒などによる本製品の変形、破損防止のため、本製品は静かに移動してください。
  - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠警告

- 以下のものは吸わせないでください。火災やけがやモータの故障の原因となります。

引火性物質
- 油類（灯油・ガソリンなど）
- 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- トナーなどの可燃物
- 塗料
- 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- 可燃性ガス（スプレーなど）

爆発性物質
- ニトログリセリンなど

発火性物質
- アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの
- ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針など

じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど
固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）
除湿剤
大量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）
人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質
薬品類
液体や湿ったゴミ
動物などの排泄物、吐しゃ物

- 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

  - そのまま使用していると、けがの原因になります。

- マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しないでください。

  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

⚠警告

- 周囲状況も考慮してください。
  - 作業時は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

- 火気や暖房器具などに近づけないでください。
  - 本製品の変形による短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで使用したり、充電したりしないでください。
  - 爆発や火災の原因になります。

- 火災の原因となりますので、以下の状況では使用しないでください。
  - 可燃物が大量に舞っている。
  - 排気口がふさがっている。
  - 紙パック、フィルタが取り付けられていない。
  - 回転ブラシにゴミがからまってブラシがロックしている。
  - フィルタに穴や破れがある。
  - バッテリがしっかり差し込まれていない。

- 損傷した部品がないか点検してください。
  - 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

⚠ 警告

- 充電式クリーナは、注意深く手入れをしてください。

  - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

- 温度が 50 ℃を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

  - 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
  - 内蔵のバッテリが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

- 使用しない場合は、きちんと保管してください。

  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。

- 火災の原因となりますので、以下の状況では充電をしないでください。

  - ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、たたみ、カーペット、ビニールなどの上
  - 風窓のある充電器で、充電中に風窓をふさいでいる。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込んでいる。
  - 綿ぼこりなど、ホコリの多い場所

- 雨中で充電したり、濡れた手で電源プラグやバッテリを抜き差ししないでください。充電器の端子に金属片や水などの異物を近づけないでください。

  - 感電やけがをすることがあります。

- 交流 100 V で充電してください。

  - 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源で充電しないでください。火災の原因になります。
  - ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

⚠警告

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて充電を中止してください。
  - そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 専用の充電器以外は使用しないでください。
  - バッテリの液もれ、発熱、破裂の原因になります。
  - 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。また、バッテリや充電器をマキタが指定した機器以外に使用しないでください。

- 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
  - コードを持って充電器を運んだり、プラグコードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

- 充電器のコードが傷んだり、電源プラグの挿し込みがゆるいときは使用しないでください。
  - 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

⚠警告

- 充電器に使用する延長コードは、使用環境に適したものを使用してください。

  - 延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

  - 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

- 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜いてください。

  - 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- バッテリは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしないでください。

  - 端子に金属類を接触させないでください。
  - 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
  - 雨や水に濡らさないでください。
  - 分解、改造はしないでください。
  - 火中に投入しないでください。

- 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れないでください。

  - 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

- マキタ指定以外のバッテリ、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。また､バッテリをマキタが指定した製品以外で使用しないでください。

  - 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- バッテリや充電器を充電中に布などで覆わないでください。

  - 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。

⚠ 警告

- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
  - 発熱や破裂、発火の原因になります。
  - 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

- 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
  - 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。

- バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。該当するバッテリを輸送する際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
  - 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

- 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
  - 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

- 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
  - 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
  - アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 注意

- 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
  - 急に本製品が動きだし、転倒するなどけがの原因になります。

- 吸込口をふさいで長時間運転しないでください。
  - 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。

- 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。

- フィルタや紙パックは正しくセットして使用してください。フィルタや紙パックをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れた状態で使用したりしないでください。
  - モータ焼損など、故障の原因になります。
  - 粉じんがもれ出し、健康を害する恐れがあります。

- ダストボックスカバーやバッテリカバー（バッテリカバー付きモデルの場合）の開閉時、紙パックやフィルタの取り付け時、バッテリの抜き差しの際に、指をはさまないよう注意してください。
  - 指をはさんで、けがをする恐れがあります。

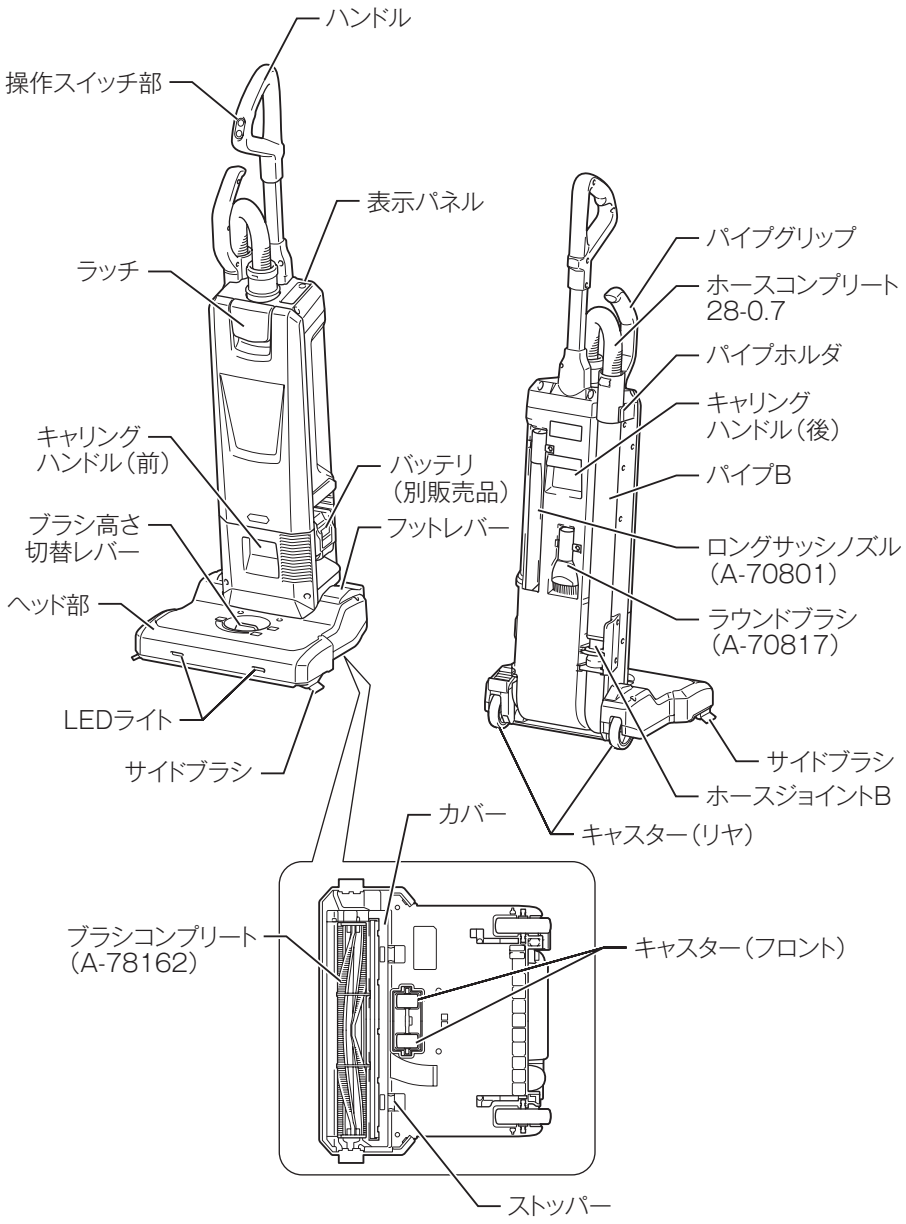
- 本体とヘッド部の隙間や、ヘッド部の下の隙間に指を入れないでください。
  - 指をはさんで、けがをする恐れがあります。

⚠ 注意

- フィルタが汚れていたり紙パックにゴミがたまった状態のまま使用を続けないでください。
  - 吸引力が低下する原因となります。

- 持ち運ぶときはハンドルやヘッド部を持たないで必ず本製品のキャリングハンドルを持って運んでください。
  - キャリングハンドル以外を持って持ち運ぶと、故障やけがの原因になります。

各部名称


ハンドル
操作スイッチ部
表示パネル
ラッチ
キャリング
ハンドル（前）
バッテリ
（別販売品）
ブラシ高さ
切替レバー
フットレバー
ヘッド部
LEDライト
サイドブラシ
パイプグリップ
ホースコンプリート
28-0.7
パイプホルダ
キャリング
ハンドル（後）
パイプB
ロングサッシノズル
（A-70801）
ラウンドブラシ
（A-70817）
サイドブラシ
ホースジョイントB
キャスター（リヤ）
カバー
ブラシコンプリート
（A-78162）
キャスター（フロント）
ストッパー

標準付属品の確認

モデル 標準付属品	VC010GZ
バッテリ	×
充電器	×
ロングサッシノズル（グレー）	○
ラウンドブラシ（グレー）	○
紙パックセット品	○

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ ラウンドブラシ
（グレー）
部品番号：A-70817

・ 高性能フィルタ
部品番号：A-70845

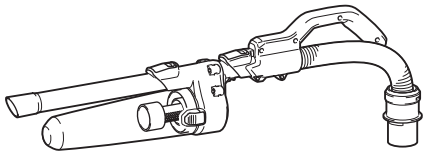
・ 紙パックセット品
部品番号：A-72693

・ ダストバッグアッセンブリ
部品番号：A-75356

・ ロングサッシノズル
（グレー）
部品番号：A-70801

・ ブラシコンプリート
部品番号：A-78162

・ アップライト用サイクロンセット
部品番号：A-75459



バッテリおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリ（容量）	◎ BL4025（2.5 Ah）	A-69923
	◎ BL4040（4.0 Ah）	A-69939
	◎ BL4040F（4.0 Ah）	A-73841
	◎ BL4050F（5.0 Ah）	A-72372
	◎ BL4080F（8.0 Ah）	A-73368
対応充電器	DC40RA（急速充電器）	JPADC40RA
	DC40RB（2 口急速充電器）	JPADC40RB

◎：使用推奨バッテリ

・ ADP10　充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリの充電が可能になるアダプタです。

組み立て

⚠ 警告

ハンドルの取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。

・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

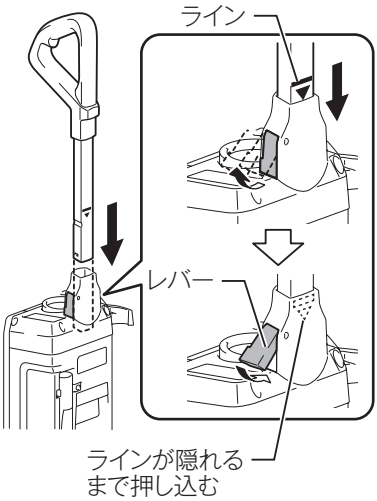
ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。

・ ホースの変形や破損などの原因になります。

ハンドルの取り付け方

・ 本製品のハンドル取り付け口に柄を挿し込みます。
ハンドル裏側のラインが完全に隠れるまで押し込んでください。

・ ハンドルを挿し込むとレバーが開きますので、レバーを押し込んでハンドルを固定してください。

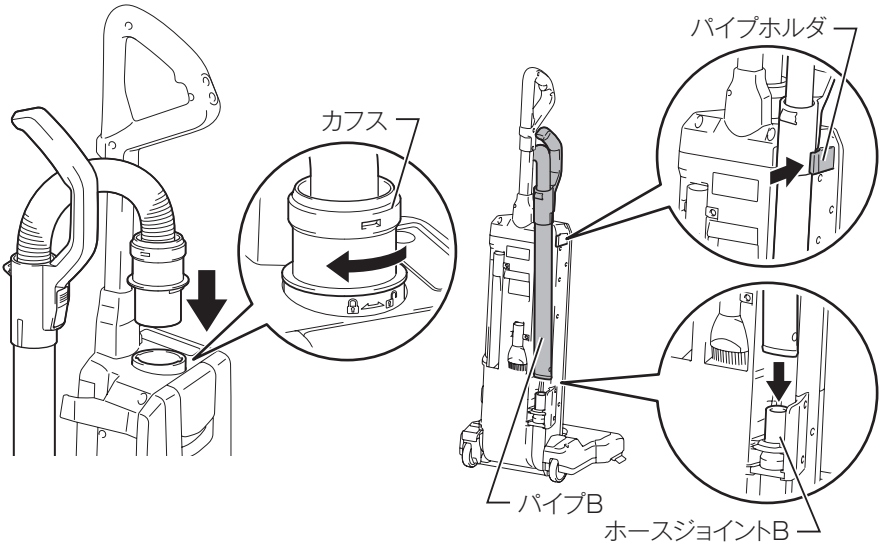


注

・ **本製品を移動させる際、ハンドルがしっかり固定されていないと製品が転倒や落下し、けがの原因となります。**

ホースとパイプの取り付け方

・ 本製品のホース取り付け口にホースコンプリート 28-0.7 を挿し込み、カフスを矢印方向に回して固定してください。
・ パイプ B をホースジョイント B に挿し込み、パイプホルダに取り付けてください。



注

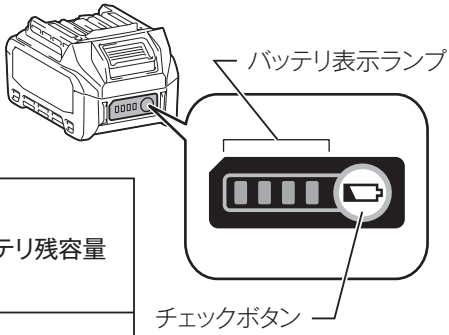
・ パイプ B とホースジョイント B の間に隙間がないよう、しっかりと取り付けてください。隙間があると、吸引力が低下します。
・ ホースは確実に取り付けてください。ホースが抜けていたりしっかり取り付いていないと、吸い込んだゴミが舞い上がる原因になります。

バッテリの充電

・ バッテリは別販売品です。

バッテリ残容量表示

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



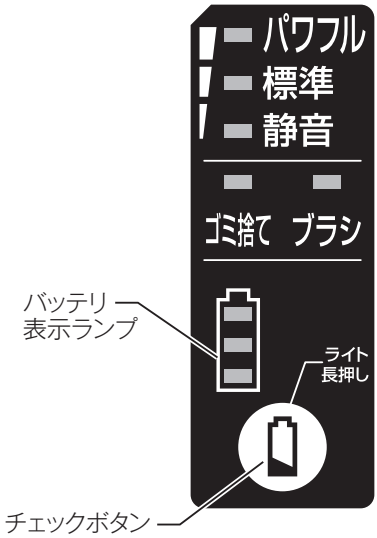
バッテリ表示ランプ :点灯　:点滅　:消灯	バッテリ残容量
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
◪ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリの異常です。

注

・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
・ バッテリ保護機能が働いた際は、左端のバッテリ表示ランプが点滅します。

本製品のバッテリ残容量表示機能

・ 運転開始時またはチェックボタンを押したときにバッテリ表示ランプがバッテリ残容量を表示します。



バッテリ表示ランプ :点灯　:消灯　:点滅	バッテリ残容量
	50 % - 100 %
	20 % - 50 %
	0 % - 20 %
	充電してください。

バッテリの充電方法

・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリ／充電器の取り扱い

・ バッテリ、充電器は別販売品です。

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

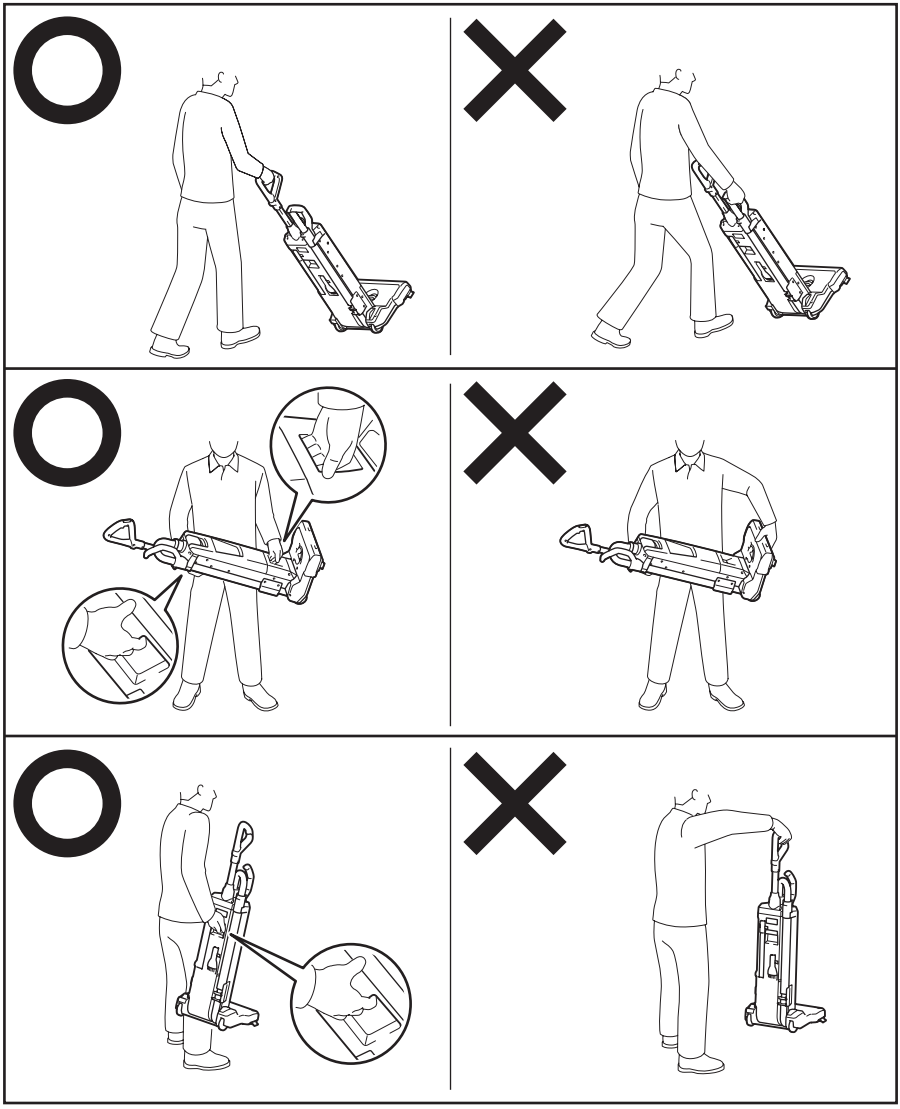
充電器の点検・修理・保管方法

・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

運搬について

・ 本製品を持ち運ぶときは、キャリングハンドル（前）（後）を持ってください。



注

・ ハンドルのみを持って本製品を持ち上げないでください。製品が落下してけがや故障の原因となります。

本製品およびバッテリの保護機能

⚠ 警告

過負荷の原因を解消する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとスポンジフィルタの奥にあるファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能

- **本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。**
  - 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
  - バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。

バッテリ表示ランプ	■:点灯 □:消灯 ◪:点滅
	本製品の異常発熱

- **バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します（19 ページの「バッテリ残容量表示」参照）。**
  - 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。

バッテリ表示ランプ	■:点灯 □:消灯 ◪:点滅
	充電してください

- **本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。**
- **回転ブラシに負荷がかかると回転ブラシエラーランプが点滅し、回転が停止するとランプが点灯します（28 ページの「回転ブラシエラーランプ」参照）。**
  - いったんスイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
  - 過負荷の原因を取り除く際は、バッテリを取りはずしてから行ってください。

回転ブラシエラーランプ	■:点灯 ◪:点滅
	回転ブラシが過負荷状態
	回転ブラシが停止

・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（54 ページ参照）に従って点検してください。

バッテリの取り付け／取りはずし方法

⚠警告

バッテリを取り付けるときは、本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。バッテリを差し込んだ際に「カチッ」と音がしていない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリ差し込み口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

濡れた手でバッテリを抜き差ししないでください。

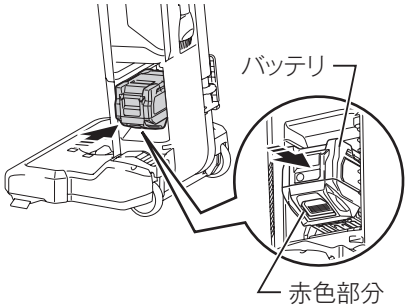
・ 感電の恐れがあります。

バッテリの抜き差しをする際は、スイッチに指を添えないでください。

・ スイッチに指を添えた状態でバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

取り付け方

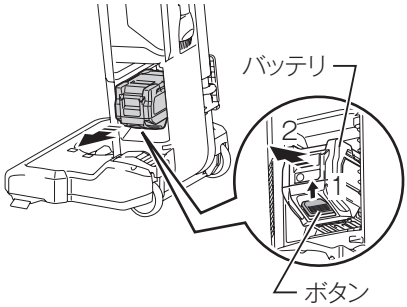
・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4050Fの取り付け例です。

取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



本製品の操作

⚠ 注意

ご使用前に紙パックと高性能フィルタを正しく取り付けてからご使用ください（38 ページの「紙パックの交換方法」、48 ページの「高性能フィルタのお手入れ」参照）。

・ 正しく取り付けていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。

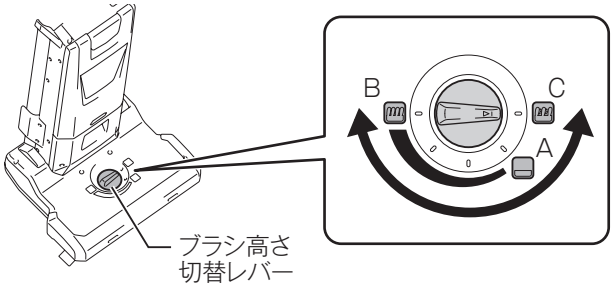
紙パックと高性能フィルタは本製品性能を維持するための大切な機能部品です。必ずマキタ純正品をご使用ください。

・ マキタ純正品以外の部品を使用すると十分な性能が得られないだけでなく、モータの発煙や発火の原因になります。

故障を防ぎ、バッテリを長持ちさせるために、使用後は必ずスイッチを切ってください。また、使用しないときは本製品からバッテリを抜いて保管してください。

回転ブラシの高さ調整について

・「ブラシ高さ切替レバー」を回して、回転ブラシの高さを調節します。
・ カーペットの毛足の長さに合わせて回転ブラシの高さを 5 段階で調節することができます。
・ 下図の「A」に設定するとブラシが低くなり床や毛の短いカーペットに適しています。「B」に設定すると最もブラシが上がり、毛足の長いカーペットなどに適しています。「C」に設定すると最もブラシが下がり、毛の奥にある汚れやしつこい汚れを取り除くのに適しています。



⚠ 注意

スイッチを入れるときは、必ず本製品ヘッド部を床に付けた状態でご使用ください。
・ 回転ブラシに巻き込まれ、けがをする場合があります。

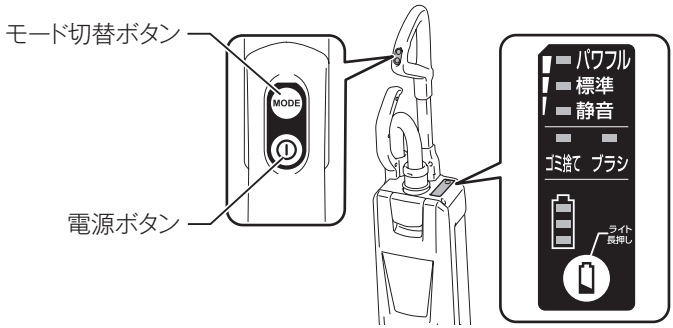
スイッチの操作

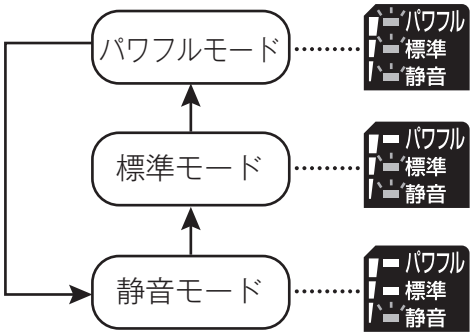
1. 電源が切れている状態から「電源ボタン」を 1 回押すと、運転を開始します。
2. 「モード切替ボタン」を押すと、次の３つの運転モードから、使用シーンに適したモードを選択できます。
（カッコ内は BL4050F 装着時の連続使用時間目安）

①標準モード（約 50 分）…標準でご使用いただくモードです。
②パワフルモード（約 25 分）…「標準モード」では対応できない汚れのひどい場所でお使いください。
③静音モード（約 100 分）…掃除中の運転音を抑えたいときに最適です。

・ 運転モードは、「モード切替ボタン」を押すごとに、27 ページの図に示したように切り替わります。
・ 電源が切れている状態でも、「モード切替ボタン」を押すごとに、27 ページの図に示したように切り替わります。
・ 電源を入れたときには、メモリ機能により、電源を切る前に設定していた運転モードで運転を開始します。
・ モータが完全に停止する前にバッテリを取りはずすと、モードが正常に記録されない場合があります。

3. 電源ボタンを押すと本製品は運転を停止します。

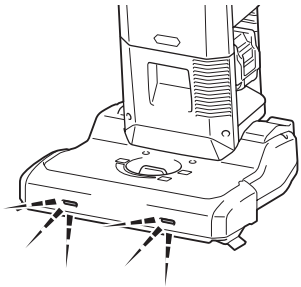




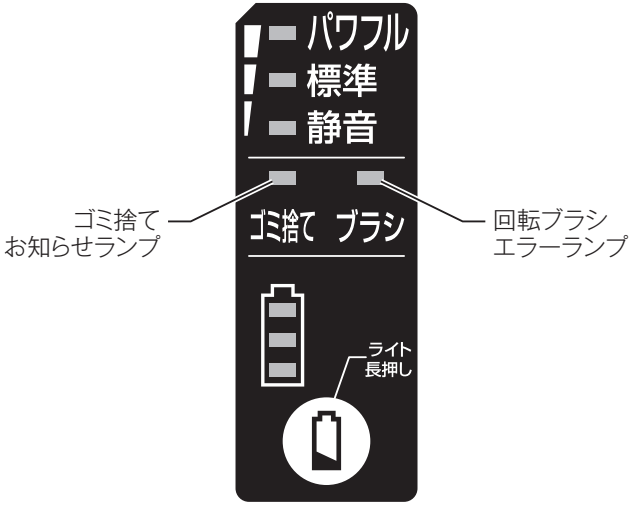
※モード表示ランプは、モード切替ボタンを操作、または製品が停止してから約 10 秒経過後に消灯します。

LED ライトについて

- 本製品の運転／停止に合わせて LED ライトが点灯／消灯します。
- 本製品の動作中にチェックボタンを長押しすると、LED ライトのオン・オフを切り替えることができます。
- 次回電源を入れたとき、LED ライトのオン・オフは、電源を切る前の設定を記憶しています。
- モータが完全に停止する前にバッテリを取りはずすと、LED ライトのオン・オフが記録されない場合があります。



お知らせ機能



■ ゴミ捨てお知らせランプ

紙パックの目づまりによって吸引力が低下すると、ゴミ捨てお知らせランプが点灯します。
ランプが点灯した状態で電源ボタンを押して本製品の運転を停止させた場合、1 分間点灯状態が続きます。
点灯 1 分以内でも目づまりを改善して運転を開始すると消灯します。
※使用環境やバッテリ状況によっては、お知らせランプが十分に機能しない可能性があります。目安としてご使用ください。
※紙パックやフィルタに問題がないのにランプが点灯する場合は、ホースなどが詰まっていないか確認してください。

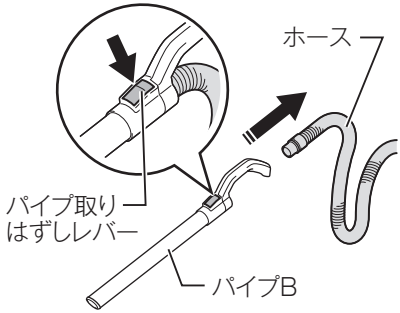
■ 回転ブラシエラーランプ

回転ブラシエラーランプが点滅した際は、回転ブラシを確認してください。
・ 回転ブラシにゴミや異物がからまって負荷がかかっている場合は、回転ブラシを掃除してください。
※ブラシの回転が完全に止まってしまうと、回転ブラシエラーランプが点灯します。
※じゅうたんの毛足の長さと回転ブラシの高さが合っていないと、ランプが点滅することがあります。その場合は、回転ブラシの高さを再調整してください（25 ページの「回転ブラシの高さ調整について」参照）。

パイプの取りはずし／取り付け方法

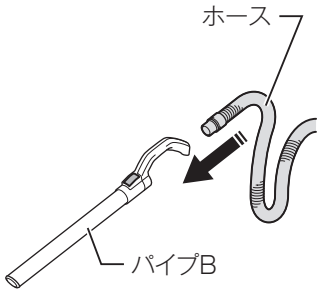
■ 取りはずし方

・「パイプ取りはずしレバー」を押し込みながら、パイプ B からホースを抜き取ってください。



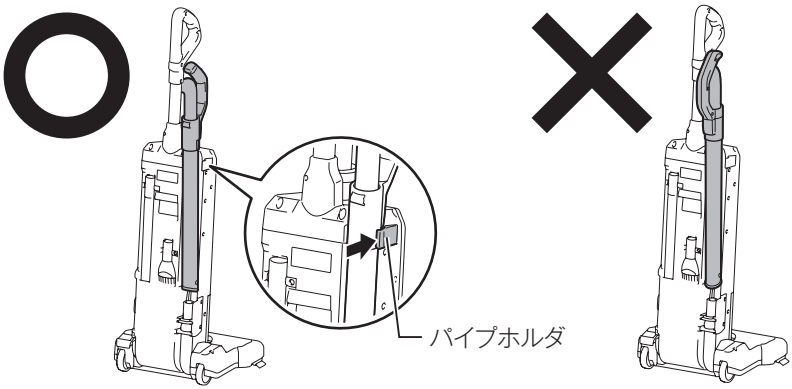
■ 取り付け方

・パイプ B にホースを挿入するとカチッと音が鳴り、一時固定されます。さらに押し込み、ホースをパイプ B にしっかり固定してください。



注

- パイプ B をホースジョイント B に挿し込む際、前後の向きが合っていない場合はパイプホルダがロックされず、パイプ B がはずれる恐れがあります。

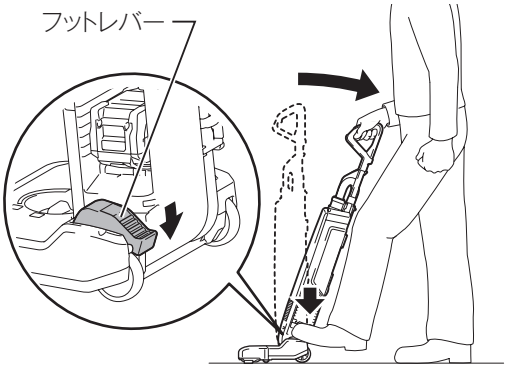


- ホースが余っているときは、ホースをパイプ B に押し込んでください。
- パイプ B、ホースのどちらにもノズルまたはラウンドブラシを付けることができます（33 ページの「パイプを使う」、35 ページの「ホースを使う」を参照）。
- パイプ B やホースの先端にノズルまたはラウンドブラシを取り付ける際は、しっかりとねじ込んで取り付けてください。

クリーナと付属品の使い方

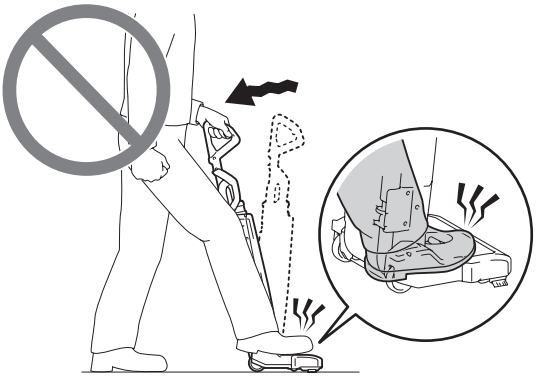
■ 床を掃除する

1. 本製品のフットレバーを解除します。
・ 直立状態から 90 度まで倒すことができます。

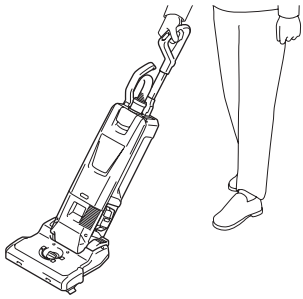


注

・ 本製品を倒す際は、必ずフットレバーを解除してください。無理に倒すと故障の原因となります。



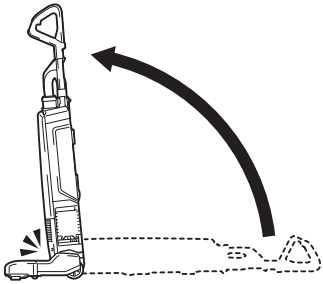
2. 「電源ボタン」を押してスイッチを入れ、床を掃除します。
・ 回転ブラシエラーランプが点滅している場合は、じゅうたんの毛足の長さと回転ブラシの高さが合っていない可能性があります。回転ブラシの高さを再調整してください。



・ 本製品前面の LED ライトをオンに設定している場合、ライトが点灯します（27 ページの「LED ライトについて」参照）。

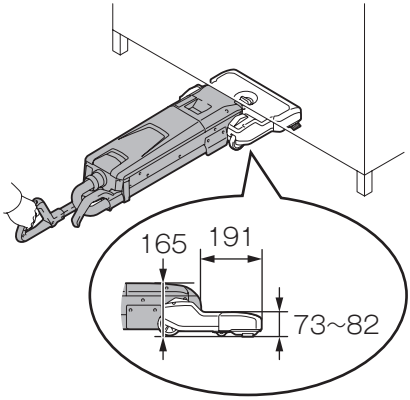
注

- **操作中に、本体底面の隙間に手を入れないでください。**
  - 指をはさんで、けがをする恐れがあります。
- **本製品を直立状態にすると、フットレバーのロックがかかり回転ブラシが停止します。フットレバーが「カチッ」と鳴るまで本製品を直立させてください。**
- **本製品を直立させたときに、フットレバーのロックがかかっていることを確認してから手を放してください。**



■ 低い隙間を掃除する

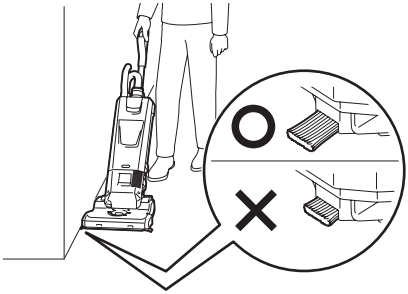
・ ベッドや棚の下など低い位置にある隙間を掃除するときは、本製品を寝かせてお使いください。



単位［mm］

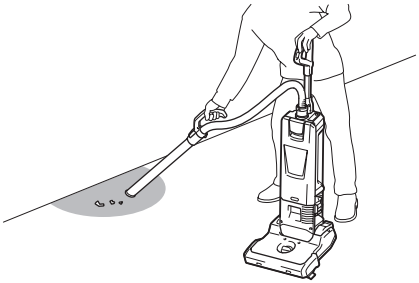
■ 壁際を掃除する

・ 本体底面の両側に付いている「サイドブラシ」で、壁際にたまったホコリを掃除することができます。
・ サイドブラシが短くなったら、交換してください。



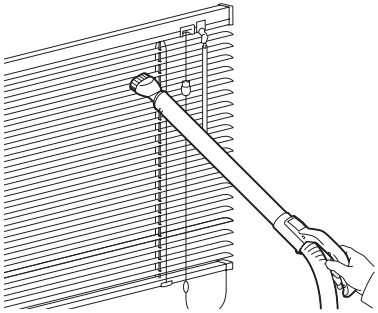
■ パイプを使う

・ 壁や家具の間を掃除するときは、パイプＢを使用すると立ったままの姿勢で奥まで掃除ができます。本体をしっかり手で保持しながら使用してください。



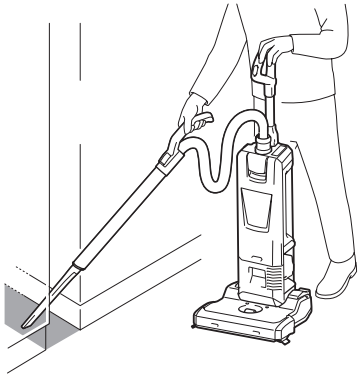
■ パイプ＋ラウンドブラシ

・ ブラインドの表面など、入り組んだ場所を掃除するときは、パイプＢの先にラウンドブラシを取り付けてください。先端に付いているブラシで、ホコリを取り除くことができます。



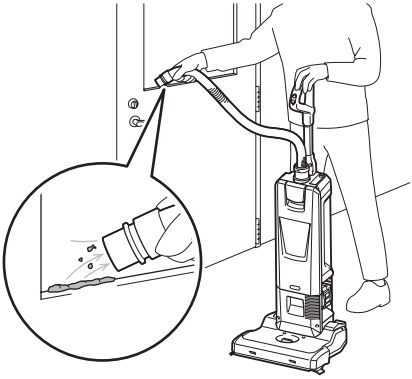
■ パイプ＋ロングサッシノズル

・ 家具の奥など本製品があたって入らないときや高い所の隙間などを掃除するときは、パイプＢの先にロングサッシノズルを挿し込んでお使いください。立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

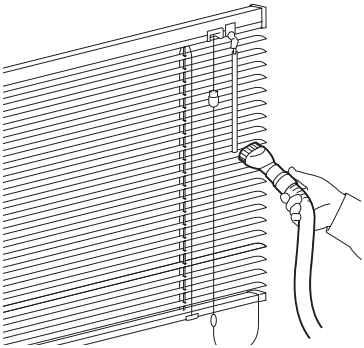


■ ホースを使う

・ 窓枠や棚の中など手元に近い場所を掃除するときは、ホースコンプリート 28-0.7 をお使いください。



※パイプ B 使用時と同様に、ホース先端にラウンドブラシやロングサッシノズルを取り付けることができます。用途に合わせてご使用ください。

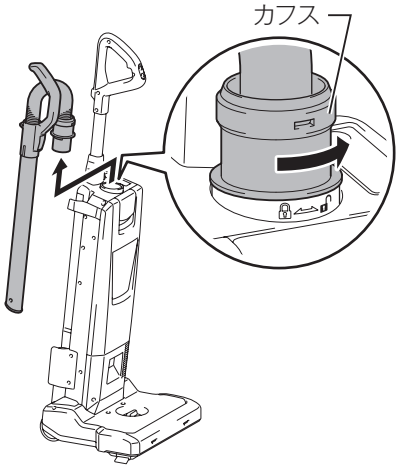


注

- パイプ B・ホースコンプリート 28-0.7 を使うときは、本製品を直立させてフットレバーのロックがかかった状態でお使いください。
  - ロックがかかっていないと、手を放したときに本製品が倒れてけがや故障の原因となります。
- 直立させると回転ブラシの回転が停止します。
  - 回転ブラシが回転したままだと、じゅうたんや床材を傷める可能性があります。

サイクロンアタッチメント（別販売品）について

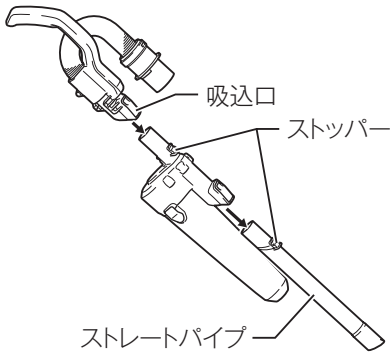
1. バッテリをはずします（24 ページ「取りはずし方」参照）。
2. カフスを矢印方向に回して取りはずし、ホースコンプリート 28-0.7 とパイプＢを本体から取りはずします。



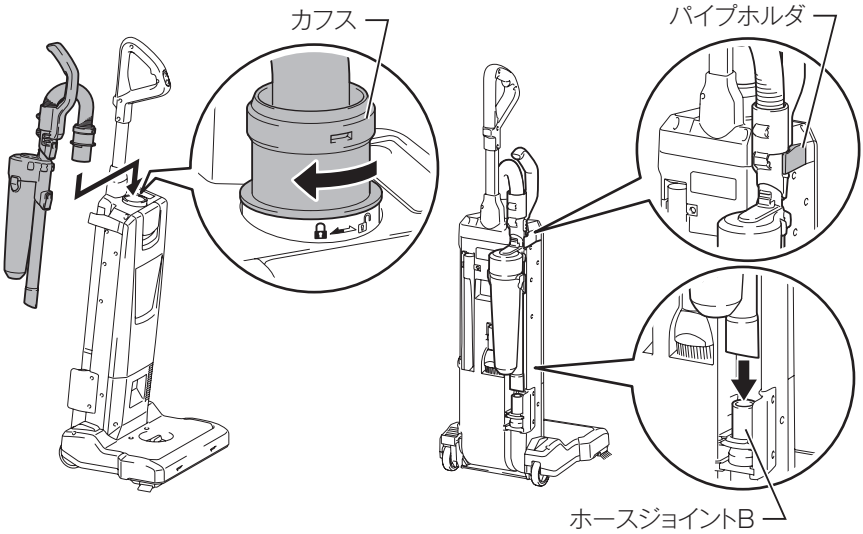
注

- サイクロンアタッチメントを接続せずに使用する場合には必要となりますので、取りはずしたホースコンプリート 28-0.7 とパイプ B のセットは大切に保管しておいてください。

3. サイクロンアタッチメントのストッパーがついている側を上にして、クリーナの吸込口の溝に合わせます。
4. カチッと音が鳴るまで挿し込み、ストッパーをロックします。
   - サイクロンアタッチメントを軽く引っ張り、はずれないか確認してください。
   - 同じ要領で、ストレートパイプを取り付けてください。



5. サイクロンアタッチメントを本体に取り付け、カフスを矢印方向に止まるまで回して固定します。
   ・ パイプをホースジョイントＢに挿し込み､パイプホルダに取り付けてください。



注

- サイクロンアタッチメントを取り付ける際は本体をしっかり保持しながら取り付けてください。
- サイクロンアタッチメントを本体からはずして使用する際は、本体をしっかり保持しながら使用してください。

使用後の取り扱い

⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとフィルタが取り付いていない状態でゴミや衣服を吸ってしまい、けがや故障の原因になります。

指や棒などをフィルタより奥に入れないでください。

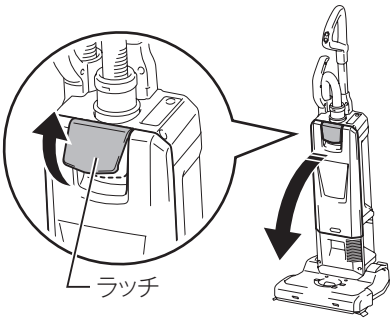
・ けがや故障の原因になります。

・ ゴミをためすぎると吸込力が低下します。次の手順に従って定期的にゴミを捨ててください。

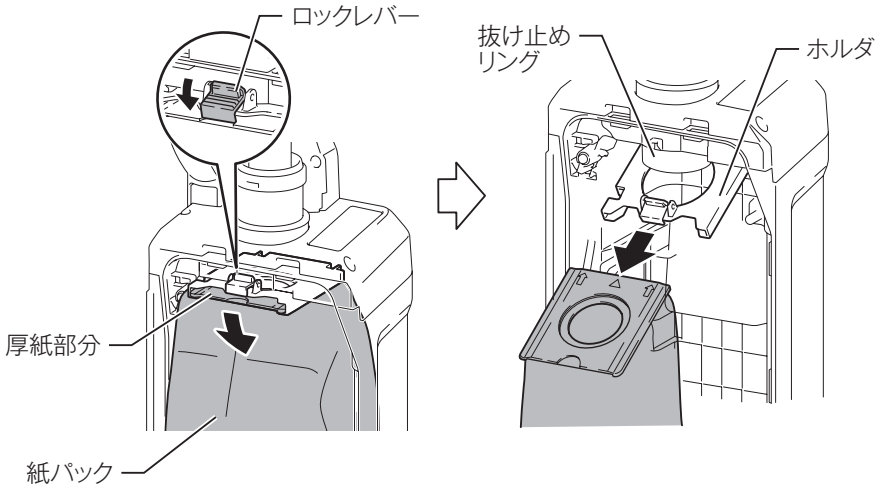
紙パックの交換方法

■ 取りはずし方

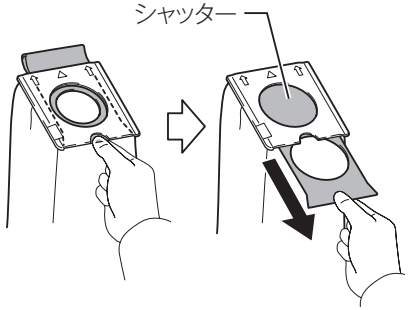
1. 前面のカバーのラッチを引いて、カバーを取りはずします。



2. ロックレバーを押し下げて紙パックの厚紙部分を矢印方向に引き、ホルダから図のように取りはずします。



3. シャッターを引いてゴミがこぼれないようにして、紙パックごとゴミを捨てます。

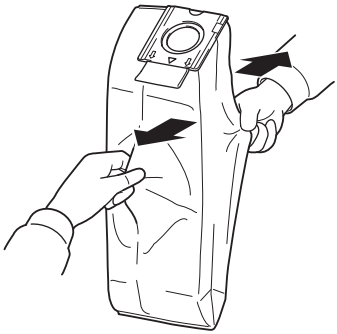


注

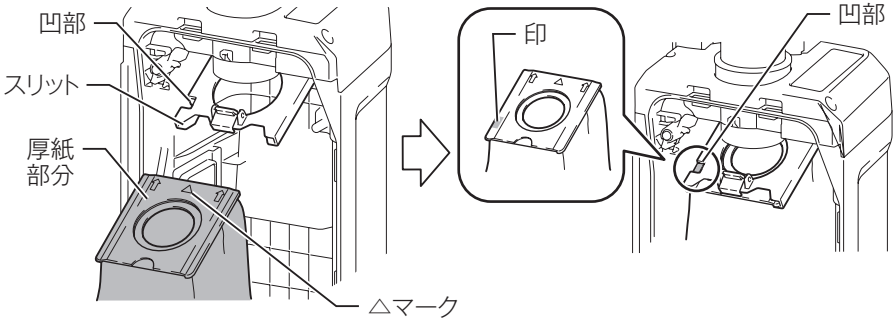
- **紙パックを取りはずすときは、ゴミが舞い上がらないよう静かに作業してください。**
  - ゴミが目に入り、目を痛める恐れがあります。

■ 取り付け方

1. 新しい紙パックを広げます。



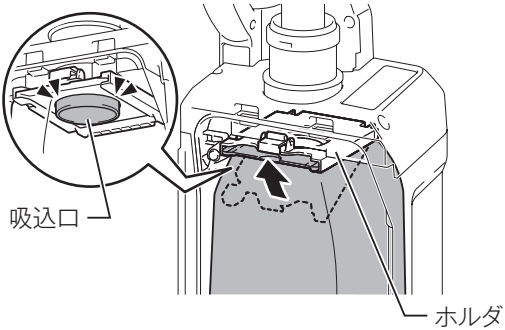
2. 厚紙部分の△マークがある方を奥に向けてスリットに挿し込み、吸込用の穴を本製品の吸込口に合わせます。
3. ホルダの凹部に厚紙部分の印がすべて見えるまで挿し込みます。



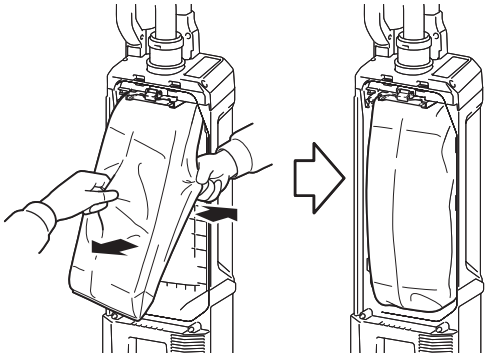
注

・ カバーを閉じる前に紙パックがしっかりと広がっているか確認してください。

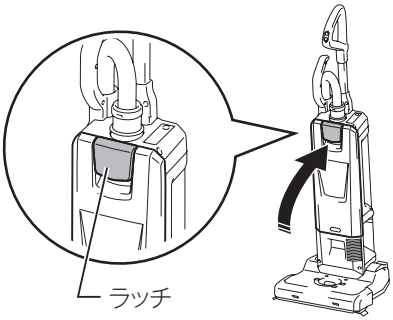
4. ロックレバーがカチッと音が鳴るまでホルダを押し上げます。



・ 紙パックを取り付けた後、紙パックが十分に広がっていない場合は、再度広げてください。



5. 交換が完了したらカバーを下部に押し込んで確実に取り付けます。
・ カバーのラッチに浮きがないか確認してください。



注

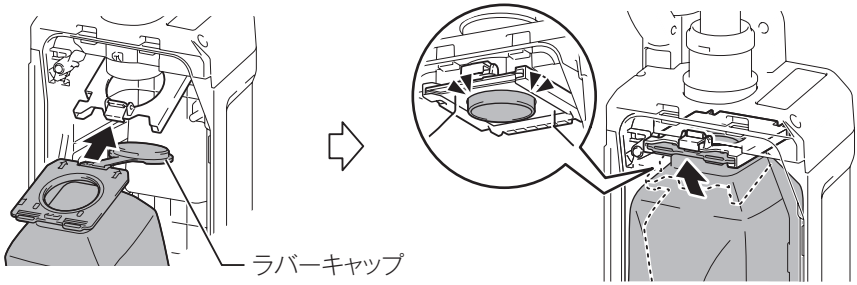
- **紙パックやカバーが確実に固定されていることを確認してください。**
- **紙パックが取り付けられていないと、前面のカバーは閉じません。**

ダストバッグ（別販売品）の取り付け／取りはずし方法

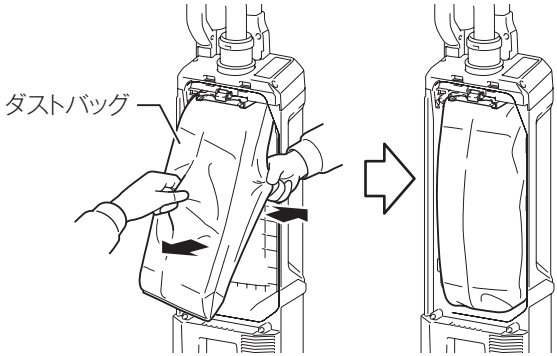
・ 取り付け、取りはずし方は紙パックと同様です。38 ～ 41 ページを参照してください。

注

・ 取り付ける際は、ラバーキャップが奥になるようにしてください。

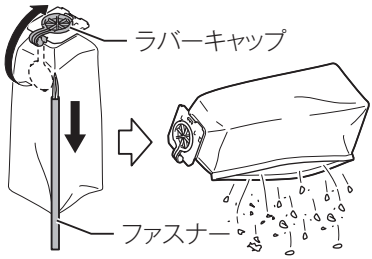


・ ダストバッグは広げてください。
・ ダストバッグ使用時はファスナーが閉まっていることを確認してから取り付けてください。



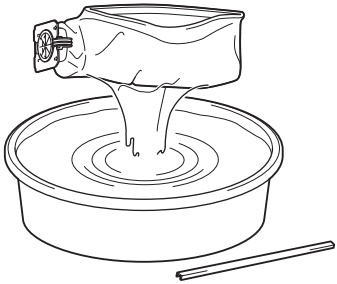
ダストバッグ（別販売品）のゴミの捨て方

1. ゴミが舞わないように吸込口にラバーキャップを取り付けます。
2. ファスナーをスライドして引き抜いて、ダストバッグの口を開きます。
3. 内側に溜まったゴミを捨て、軽くたたくようにしてダストバッグに付着したゴミを落とします。
4. ゴミを捨てた後、ダストバッグの口をファスナーでしっかり閉じます。



注

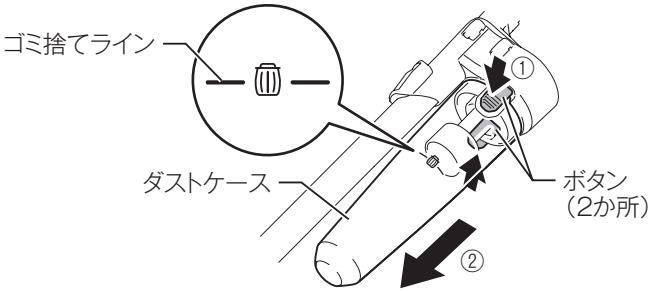
- ゴミを溜めすぎると重くなり、袋が破れる恐れがありますので、ゴミはこまめに処分してください。
- ダストバッグは、ときどき薄めた中性洗剤でもみ洗いをし、よく乾燥させてからご使用ください。
  - 乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。



サイクロンアタッチメント（別販売品）のゴミの捨て方

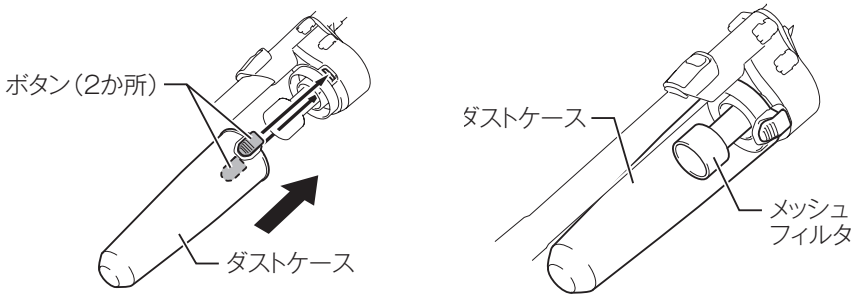
・ ダストケースのゴミ捨てラインまでゴミが溜まりましたら以下の要領で捨ててください。

1. 本体を支えながら、ボタン（2 か所）を押さえて取りはずします。



2. ダストケース内のゴミを捨て、メッシュフィルタ表面に付着した粉じんを取り除きます。
3. ダストケースを取り付けます。

・ 本体を保持しながら、2 か所のボタンが“カチッ”と音がするまでしっかり取り付けてください。

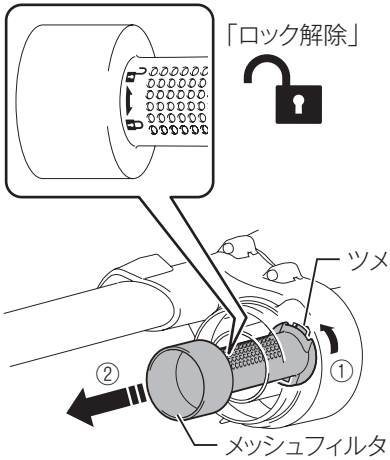


注

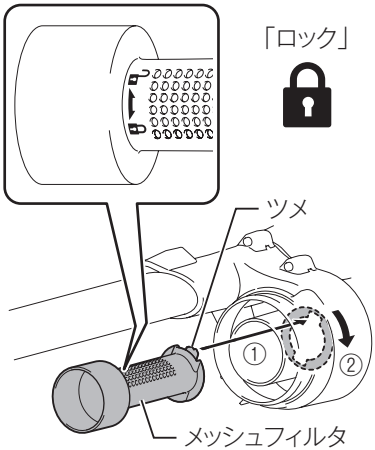
- ダストケースを取り付ける際は本体をしっかり保持しながら取り付けてください。
- 作業を再開するときは、サイクロンアタッチメント、グリップ、パイプがそれぞれ確実に取り付いていることを確認してください。
- サイクロンアタッチメントのダストケースがいっぱいの状態でも、本製品のゴミ捨てお知らせランプは点灯しません。
- 次の状態のとき、クリーナの紙パックにゴミが溜まっていないか、またはホースに詰まりがないか確認してください。
  - ダストケースからホコリを取り除き、メッシュフィルタを清掃した後、吸引力が戻らない場合。
  - 本製品のゴミ捨てお知らせランプが点灯し続ける場合。

■ メッシュフィルタの汚れがひどい場合

1. メッシュフィルタを矢印方向に回しツメをはずして抜き取ります。

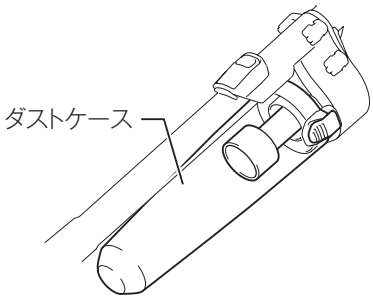


2. メッシュフィルタの表面に付着したゴミを取り除いたあと、水洗いして十分に乾燥させます。
3. メッシュフィルタのツメをサイクロンアタッチメントの凹部にハメ込むように挿し込み、矢印方向に回して取り付けます。
   - メッシュフィルタは“カチッ”と音がするまでしっかり取り付けてください。



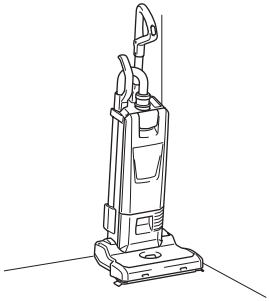
■ お手入れ

- ダストケースの汚れがひどい場合は、取りはずして水洗いすることができます（取りはずし方は 44 ページ「サイクロンアタッチメント（別販売品）のゴミの捨て方」参照）。
- 水洗い後、十分に乾かしてから取り付けてご使用ください。



保管について

・ 保管するときは本製品のスイッチを切ってからバッテリを抜いてください。
・ 屋内の水平な場所に、本製品を直立させた状態で保管してください。



保守

⚠警告

高性能フィルタ、回転ブラシを交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

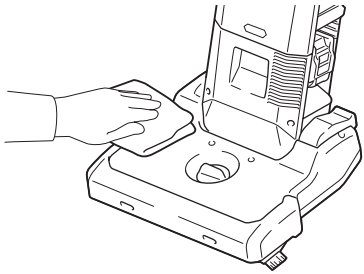
・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入ると、けがや故障の原因になります。

指や棒などを吸込口より奥に入れないでください。

・ けがや故障の原因になります。

本製品のお手入れ

・ 本製品の汚れは、布に薄めた中性洗剤を少量しみ込ませてふきとってください。
・ 吸込口に付いたゴミをふきとってください。



注

・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**
・ **エアブロワでの掃除は避けてください。**
  ・ エアブロワなどで掃除しますと、排気口より粉じんなどが内部に入り込んでしまい故障の原因となります。
・ **水洗いは絶対にしないでください。**
  ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。

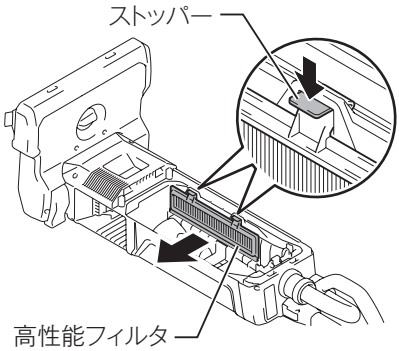
高性能フィルタのお手入れ

・ 高性能フィルタは水洗いができますので定期的（1 ～ 2 ヶ月毎）に粉じんを水で洗い流してください。

■ 取りはずし方

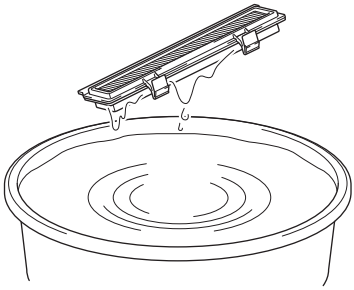
1. 前面のカバーのラッチを引いてカバーを取りはずします。
2. 紙パックを取り出します（38 ページ「取りはずし方」参照）。
3. 2 か所のストッパーを下げて高性能フィルタを取りはずします。

・ 高性能フィルタを取りはずすときは、ゴミが舞い上がらないよう静かに作業してください。



■ 水洗い

・ 高性能フィルタに付着した粉じんを水で洗い流します。
・ 水洗い後は陰干しして完全に乾かしてください。

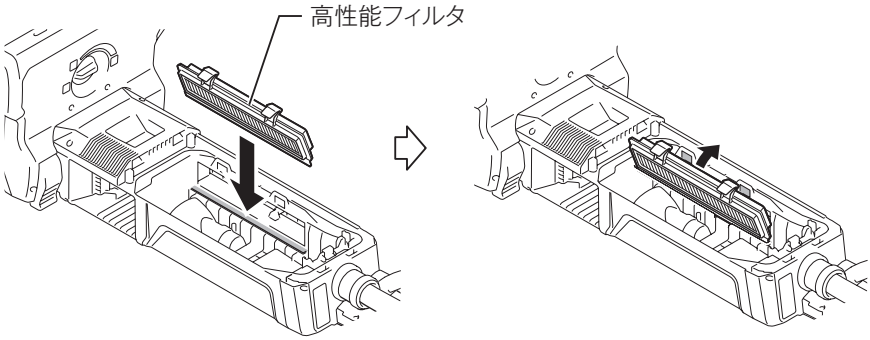


注

・ 乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸込力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。
・ 高性能フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
・ ブラシ・ヘラなど硬いもので高性能フィルタをこすってキズをつけないようにしてください。
・ 高性能フィルタはキズつきやすいので、エアブロワや高圧洗浄機で掃除をしないでください。

■ 取り付け方

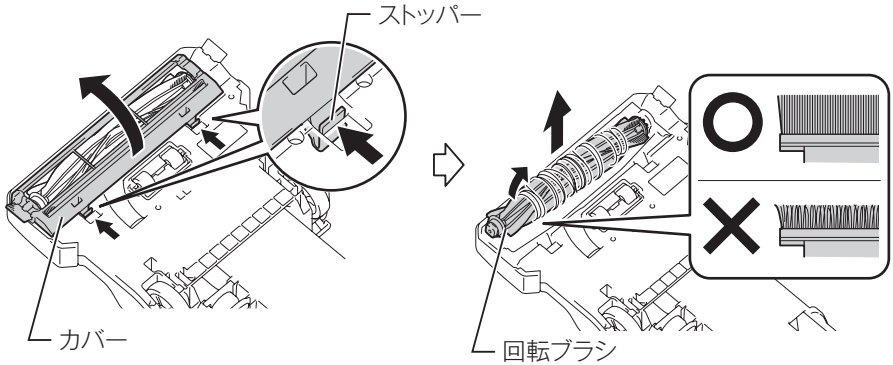
1. 高性能フィルタの下側を本体の溝にはめ、ストッパーがカチッというまで押し込んで元の場所にはめ込みます。
2. 紙パックを取り付けます（40 ページ「取り付け方」参照）。
3. カバーを確実に閉じます。



回転ブラシのお手入れ

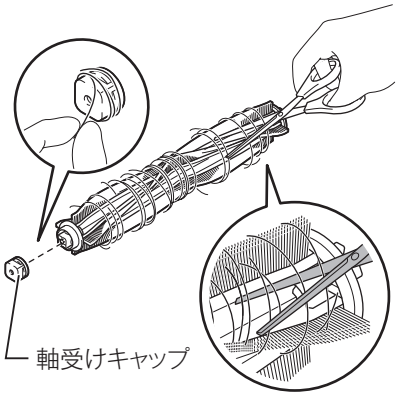
■ 取りはずし方

・ 底面のカバーをはずして、回転ブラシを取りはずします。
・ 回転ブラシの毛が摩耗して短くなってきたら、回転ブラシを交換してください。



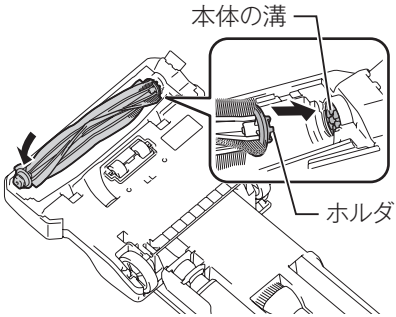
■ お手入れ

1. 回転ブラシにからまったゴミを取り除きます。
2. 回転ブラシに付いている軸受けキャップを取りはずし、からまったゴミを取り除きます。
・ 髪の毛などがブラシに巻き付いている場合は、ブラシの溝に沿ってはさみで短く切ってから取り除いてください。
3. 水または薄めた中性洗剤を含ませた布で、回転ブラシの汚れをふきとります。
・ 水拭き後は陰干しして完全に乾かしてください。



■ 取り付け方

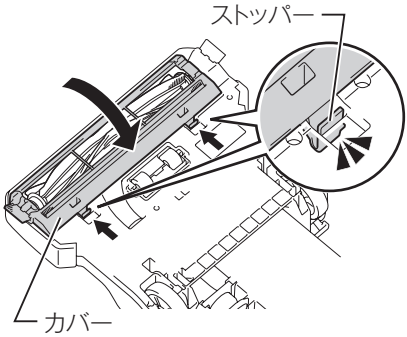
1. 軸受けキャップを回転ブラシの元の位置に戻します。
2. 回転ブラシのホルダの形状と本体の溝が合うように取り付けます。



注

- 回転ブラシは確実に取り付けてください。

3. 底面のカバーを元の位置に取り付けます。



注

- 底面のカバーを取り付ける際は、2 か所のストッパーが「カチッ」と音がするまでしっかりはめ込んでください。

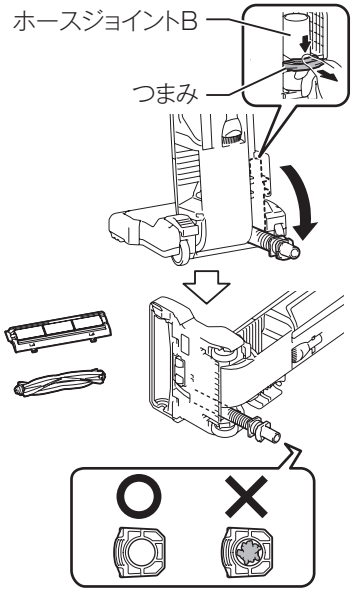
ホース詰まりの確認方法

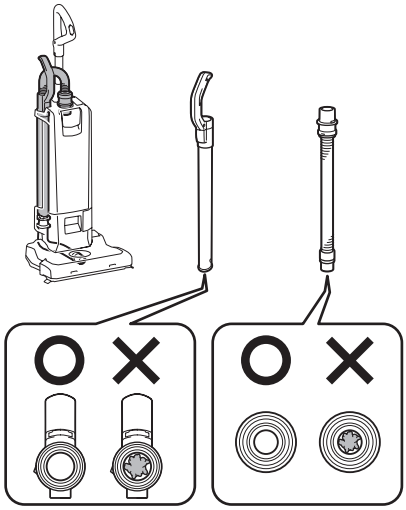
■ ホースの取りはずしと詰まりの確認

⚠ 警告

ホース詰まりを確認・清掃するときは、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

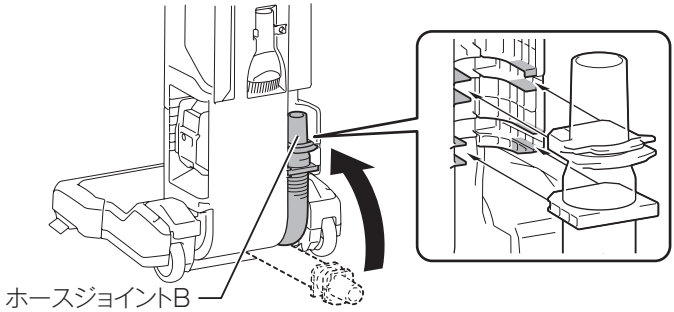
1. 本体底面のカバーと回転ブラシを取りはずします（50 ページの「取りはずし方」参照）。
2. パイプ B とホースコンプリート 28-0.7 を本体から取りはずし、詰まりがないか確認します。
   - パイプ B の取りはずし方は、29 ページの「パイプの取りはずし／取り付け方法」を参照。
   - ホースコンプリート 28-0.7 の取りはずし方は、36 ページの「サイクロンアタッチメント（別販売品）について」を参照。
   - ゴミなどが詰まっていたら、棒状のもので押し出して取り除いてください。
3. ホースジョイント B のつまみをつまみながら手前に引いて本体から取りはずし、中をのぞき込んで詰まりがないか確認します。
   - 本製品を寝かせると、ホース内がのぞきやすくなります。



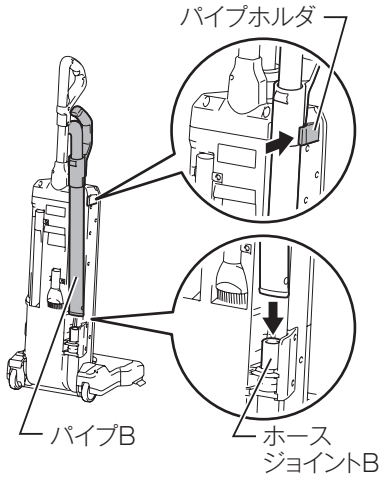


■ ホースの取り付け方

1. ホースジョイント B を本体の溝に合わせて取り付けます。



2. パイプ B をホースジョイント B に挿し込み、パイプホルダに取り付けます。



注

- ホースにゴミが詰まったまま作業を続けると、モータ故障や吸引力低下の原因になります。
- ホース詰まりを確認および清掃しても直らないときは、バッテリが寿命の可能性があります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、バッテリを交換してください。
- 修理はご自分では行わないでください。必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 23 ページ参照。

症状別点検項目一覧

症状	調べる所	直し方	参照ページ
電源が入らない	・バッテリが正しく取り付いていますか。	・バッテリをカチッと音が鳴るまで差し込んでください。	24
	・バッテリが消耗していませんか。	・チェックボタンを押してバッテリの残容量を確認してください。	20
	・ハンドルがしっかり組み付けられていますか。	・ハンドル裏側のラインが完全に隠れるまでしっかり挿し込み、取り付け口のレバーを閉じてください。	17

症状	調べる所	直し方	参照ページ
回転ブラシが回転しない	・本製品が直立状態になっていませんか。	・フットレバーのロックをはずして本製品を傾けてから運転してください。	31
	・回転ブラシエラーランプが点灯していませんか。	・回転ブラシ（本体、キャップ部、ジョイント部）にゴミなどがからまっていないか確認し、回転ブラシをお手入れしてください。	50
吸い込みが弱い、ゴミが取れない	・ゴミ捨てお知らせランプが点灯していませんか。	・紙パックが十分に広がらず、吸込口付近にゴミが詰まっていないか確認してください。 ・紙パックを交換してください。 ・紙パックを交換しても点灯している場合は - ホースやパイプにゴミが詰まっていないか確認してください。 - 高性能フィルタを掃除、交換してください。	38 52 48
	・回転ブラシにゴミがからまっていませんか。	・回転ブラシ（本体、キャップ部、ジョイント部）にゴミなどがからまっていないか確認し、回転ブラシをお手入れしてください。	50
	・ブラシ高さ切替レバーの設定を高くしすぎていませんか。	・切替レバーの設定を、じゅうたんの毛足の長さに合わせて低くしてください。	25
	・回転ブラシが摩耗していませんか。	・回転ブラシを交換してください。 ・ブラシ高さ切替レバーの設定を低くしてください。	50 25
	・運転モードは適切ですか。	・より強い運転モードに変更してください。	26
	・回転ブラシを取り付けていますか。	・回転ブラシを取り付けてください。	51
	・パイプやホースが抜けていませんか。	・パイプやホースをしっかり挿し込んでください。	18 29

症状	調べる所	直し方	参照ページ
運転音が大きい	・運転モードは適切ですか。	・運転モードを、標準モードまたは静音モードに変更してください。	26
	・回転ブラシに異物がからまっていませんか。	・回転ブラシ（本体、キャップ部、ジョイント部）に異物がからまっていないか確認してください。	50
	・紙パック内のゴミがいっぱいになっていませんか。	・紙パックを交換してください。 ・紙パックを交換しても運転音が変わらない場合は - ホースやパイプにゴミが詰まっていないか確認してください。 - 高性能フィルタを掃除、交換してください。	38 52 48
すぐ目づまりが起きてしまう	・紙パックを広げて装着しましたか。	・紙パックをしっかり広げてから装着してください。	40
LED ライトが点灯しない	・LED ライトの設定がオフになっていませんか。	・本製品の動作中に、チェックボタンを長押ししてください。	27
動きが悪い	・キャスターにゴミがからまっていませんか。	・キャスター（フロント、リヤ）にからまったゴミを取り除いてください。	14

メモ

メモ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881K17B6
IWT